

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（医療法人財団北林厚生会 五条山病院 第3報（最終報））

医療法人財団北林厚生会 五条山病院の入院病棟 A および入院病棟 B において院内感染（クラスター）が、入院病棟 C において院内感染が発生し、濃厚接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから当該院内感染事案（クラスターを含む）は終結しました。

1 発生場所

医療法人財団北林厚生会 五条山病院（所在地 奈良市六条西4-6-3）

2 感染者の概要（合計 37 人）

(1) 経緯

入院病棟 A 7月17日、職員1人が発熱を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に係る職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者15人及び職員8人（初発感染者を含む）の計23人の感染を確認しました。

入院病棟 B 7月19日、入院患者2人及び職員1人が発熱等を認め、検査を行ったところ入院患者2人及び職員1人の感染を確認しました。同入院病棟に係る職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者7人及び職員3人（初発感染者を含む）の計10人の感染を確認しました。

入院病棟 C 7月21日、職員1人が発熱を発症を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に係る職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者3人及び職員1人（初発感染者を含む）の計4人の感染を確認しました。

(2) 感染者（計 37 人）

ア 入院患者 25 人（市内 25 人）

【内訳】 性別：男性 8 人、女性 17 人

年代：20代 1 人、40代 3 人、50代 3 人、60代 5 人、70代 7 人
80代 4 人、90代 2 人

イ 職員 12 人（市内 8 人、市外 4 人）

【内訳】 性別：男性 1 人、女性 11 人

職種：看護職員 8 人、看護補助職員 2 人、事務職員 2 人

年代：20代 1 人、40代 3 人、50代 4 人、60代 4 人

※第2報（8月1日）以降、新たに入院患者3人、職員1人の感染が判明しています。

3 病院の対応

- ・ 7月19日～
 - ・ 入院病棟 A の消毒を実施。
 - ・ 入院病棟 A、入院病棟 B の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 A 及び入院病棟 B の新規入院を休止。
- ・ 7月21日～
 - ・ 入院病棟 C の消毒を実施。
 - ・ 入院病棟 C の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 C の新規入院を休止。
- ・ 8月10日～
 - ・ 入院病棟 C の通常の病院機能を再開
- ・ 8月16日～
 - ・ 入院病棟 A の通常の病院機能を再開
- ・ 8月19日～
 - ・ 入院病棟 B の通常の病院機能を再開

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。